

論文審査の結果要旨

論文題名：日本の一般地域住民を対象としたコーヒー摂取頻度と全死因死亡リスクの関連：自治医大コホート
申請者氏名：坂巻 つや子
<p>審査の所見</p> <p><論文課題概要></p> <p>コーヒー摂取と全死因死亡リスクおよび死因別死亡リスクとの関連を分析したコホート研究はいくつか知られているが、これらの研究結果は必ずしも一致したものとはいえない。また、日本人を対象とした研究は少ない。そのため、本論文はわが国の一般地域住民を対象とした前向きのコホート研究により、コーヒー摂取頻度と全死因、がん、循環器疾患の死亡リスクとの関連を明らかにするために行ったものである。</p> <p><研究内容></p> <p>「自治医科大学コホート研究」のデータを用いてコーヒー摂取頻度と全死因、がん、循環器疾患の死亡リスクとの関連を検討した。その結果、コーヒー摂取による全死因、がん、虚血性心疾患、その他の心疾患の死亡リスクへの有意な影響はみられなかったものの、脳血管疾患に関しては、男女計および男について、少量のコーヒー摂取による死亡リスクの低下が認められるという知見を示した。</p> <p><科学的到達・新規性></p> <p>本論文は、平均追跡期間が18.4年と比較的長く、それに対して追跡不能者は4.6%と低く抑えられていた。また、対象者は12の自治体居住者から選ばれており、従来のがが国で行われた同様の研究に比べて一般化可能性が高いものと考えられ、この研究で得られた知見はわが国の保健医療福祉に寄与するものといえよう。</p> <p><発展></p> <p>コーヒーの少量摂取が、なぜ脳血管疾患死亡リスクを低下させるのかを追求するとともに、コーヒー摂取による脳血管死亡リスクの低下に向けた介入の可能性を検討することが期待される。</p> <p>以上のことから、本論文は博士（健康科学）の学位授与に値するものとして認める。</p>

【審査員】

主査：埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 教授 延原 弘章

副査：埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 教授 田中 健一

副査：東北福祉大学健康科学部 講師 曾根 稔雅